

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐火障壁の耐震性についての計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/11/16	NS2-添2-014- 35改01	耐震(計算 書)(VI-2-11-2- 10)	VI-2-11-2-10 耐火障壁の 耐震性についての計算書	P.24	耐火障壁(格納容器ガスサンプリング装置冷却 器)の1次固有振動モード図において、防火扉上 部付近の変形が大きい理由を説明すること。	今回回答	防火扉上部付近の短い縦方向部材の上下端は、ピン支持であり、X軸まわりの回転を許 容しています。このため1次モードでは、防火扉上部付近の振動が卓越しています。	-	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(耐火障壁の耐震性についての計算書)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～49は、NS2-他-185改01で整理済みのため省略。						
50	NS2-添 2-014-35改02	VI-2-11-2-10 耐火障壁の耐震性についての計算書	P.7	表2-1について、以下のとおり修正しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・支持構造の記載を修正しました。(下線部参照) (旧)……鋼製のフレーム部材は基礎ボルトにより建物躯体である…… (新)……鋼製のフレーム部材は固定ボルトによりベースプレートに接続され、ベースプレートは基礎ボルトにより建物躯体である…… ・主体構造に防火扉を追記しました。 ・概略構造図に基礎ボルト部まわりの拡大図として、a部詳細として追記しました。 	2023/1/12	
51	NS2-添 2-014-35改02	VI-2-11-2-10 耐火障壁の耐震性についての計算書	P.8	表2-2について、以下のとおり修正しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・断面図に鋼板とフレーム部材の名称を追記しました。 ・鋼板の形状と発泡性耐火被覆の拡大図を追記しました。 	2023/1/12	
52	NS2-添 2-014-35改02	VI-2-11-2-10 耐火障壁の耐震性についての計算書	P.19	4.3項において、耐火障壁(格納容器ガスサンプリング装置冷却器)、耐火障壁(中央制御室送風機)についてそれぞれ、4.3.1項、4.3.2項として記載を分割しました。	2023/1/12	
53	NS2-添 2-014-35改02	VI-2-11-2-10 耐火障壁の耐震性についての計算書	P.19	4.3.2項とした耐火障壁(中央制御室送風機)の(1)において、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)……フレーム部材単体の解析モデルとし、…… (新)……フレーム部材1本の解析モデルとし、…… (旧)……、さらにフレーム部材の水平方向断面の対称性を踏まえて…… (新)……、さらに、 <u>フレーム部材は辺の長さが同じ矩形断面であり断面性能が水平2方向で同一であることから、水平方向断面の対称性を踏まえて……</u>	2023/1/12	
54	NS2-添 2-014-35改02	VI-2-11-2-10 耐火障壁の耐震性についての計算書	P.19	4.3.2項とした耐火障壁(中央制御室送風機)の(2)において、全体質量についての記載を以下のとおり追記しました。 (追記)鋼板(発泡性耐火被覆貼付)については、隣接するフレーム部材間の鋼板(発泡性耐火被覆貼付)の半分を付加するものとし、フレーム部材両側の…の範囲を考慮する。	2023/1/12	
55	NS2-添 2-014-35改02	VI-2-11-2-10 耐火障壁の耐震性についての計算書	P.19	4.3項において、解析コードについては、耐火障壁(格納容器ガスサンプリング装置冷却器)、耐火障壁(中央制御室送風機)も同じ解析コードを使用していることから、共通事項として4.3項の記載としました。	2023/1/12	
56	NS2-添 2-014-35改02	VI-2-11-2-10 耐火障壁の耐震性についての計算書	P.24,25	図4-3及び図4-4に凡例を追記しました。	2023/1/12	
57	NS2-添 2-014-35改02	VI-2-11-2-10 耐火障壁の耐震性についての計算書	P.28	図4-5を修正しx軸を追記しました。	2023/1/12	
58	NS2-添 2-014-35改02	VI-2-11-2-10 耐火障壁の耐震性についての計算書	P.31	図4-7を修正しxyz軸を追記しました。	2023/1/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
59	NS2-添 2-014-35改02	VI-2-11-2-10 耐火障壁の耐震性についての計算書	P.41,42,47,48	<p>1.4.2項, 2.4.2項において, 以下のとおり記載を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレーム部材の圧縮応力の算出応力欄の*1を削除しました。 ・フレーム部材の組合せ(圧縮+曲げ)の許容応力欄の*2を削除しました。 ・基礎ボルトについて, 組合せの記載を削除し引張とせん断に修正しました。あわせて, 引張許容応力の記号及び数値を修正しました。また, 引張許容応力の数値に*を追記しました。 ・上記修正に伴い, 注記*をf_{ts}の算出式のみ修正しました。 	2023/1/12	
60	NS2-添 2-014-35改02	VI-2-11-2-10 耐火障壁の耐震性についての計算書	P.49	<p>3.代表機器の選定結果及び全機器の評価結果について, 以下のとおり修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレーム部材の算出応力及び許容応力の記載を, 一から数値の記載に修正しました。 ・基礎ボルトの応力について, 組合せの記載を, 引張とせん断のうち裕度の小さいものを確認した結果を踏まえて引張に修正しました。 	2023/1/12	